

# イーストスプリング・ インドネシア債券オープン (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

第35期(決算日 2015年3月18日)  
 第36期(決算日 2015年4月20日)  
 第37期(決算日 2015年5月18日)  
 第38期(決算日 2015年6月18日)  
 第39期(決算日 2015年7月21日)  
 第40期(決算日 2015年8月18日)

作成対象期間(2015年2月19日～2015年8月18日)

第40期末(2015年8月18日)	
基準価額	6,618円
純資産総額	48,216百万円
第35期～第40期 (2015年2月19日～2015年8月18日)	
騰落率	△8.8%
分配金合計	600円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### <閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)」は、2015年8月18日に決算を行いました。

当ファンドは、主としてインドネシアの債券に投資を行う投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保および中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

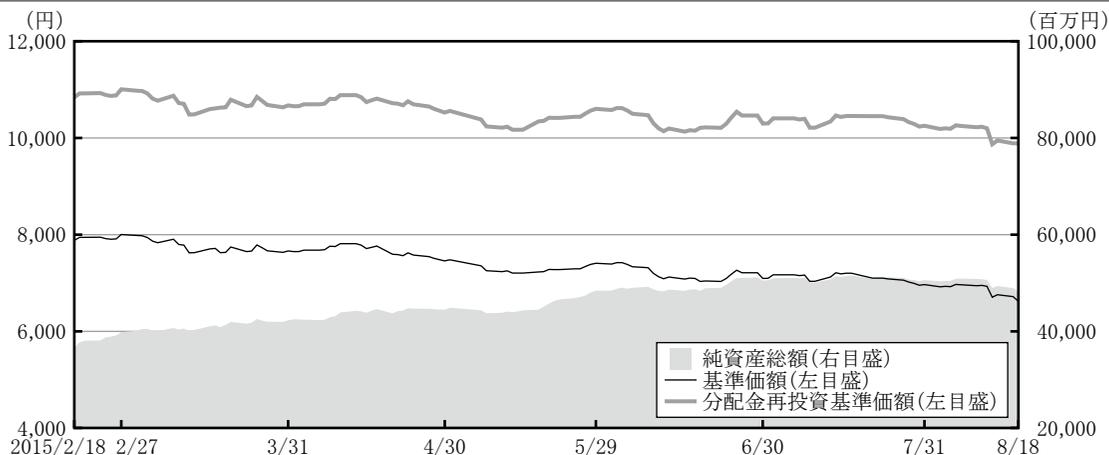
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について(第35期～第40期:2015年2月19日から2015年8月18日まで)



第35期首	7,883円
第40期末	6,618円(既払分配金600円)
騰落率	△8.8%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

インドネシア債券市場は、当作成期初から2015年4月中旬にかけて、米国の利上げ時期を巡る市場の思惑に左右される状況が続き、狭い値幅での推移となりました。その後作成期末にかけては、米国の年内利上げ観測の高まりや、ギリシャのユーロ離脱を巡る不透明感、中国の景気減速懸念などを背景にリスク回避の動きが強まり、債券、為替ともに軟調な展開となったことから、基準価額は下落しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第35期～第40期 2015/2/19 ～2015/8/18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	45円	0.605%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、7,431円です。
(投信会社)	(16)	(0.213)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(28)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	( 0)	(0.002)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	45	0.608	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

	2012/2/29 設定日	2012/8/20 決算日	2013/8/19 決算日	2014/8/18 決算日	2015/8/18 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,396	8,876	7,456	6,618
期間分配金合計(税込み) (円)	—	200	700	1,170	1,200
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△4.0	1.3	△2.4	4.2
純資産総額 (百万円)	100	324	2,185	10,700	48,216

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

## 投資環境について

### ○海外債券市況

当作成期初から2015年4月中旬にかけては、米国の利上げ時期を巡る市場の思惑に左右される状況が続き、インドネシア債券市場は狭い値幅での動きに終始しました。4月下旬から5月上旬に日米欧の債券が大幅下落(利回りは上昇)したことを受けて、インドネシア債券も連れ安となりました。7月上旬はギリシャのユーロ離脱を巡る不透明感からリスク回避の動きが強まり、一段安となりました。その後、ギリシャ債務問題への懸念の後退や米国の利上げペースが穏やかなものになるとの思惑から、一時買い戻される局面も見られましたが、8月に入って中国人民元の事実上の切下げを受けて通貨ルピアが大幅安となり、債券市場も大幅下落となりました。

### ○為替市況

インドネシアルピアは米国の金融引締め観測に加え中国人民元の事実上の切下げの影響から、対ドルで軟調となりました。対円でも、作成期末にかけて中国株安を受けたリスク回避の円買いの動きが強まったため、下落しました。

### ○国内債券市況

日本国債市場は当作成期初から2015年4月中旬にかけて、国債入札を巡る不安から一時的に下落(利回りは上昇)する局面があったものの、概ね堅調(利回りは低下)な推移となりました。4月下旬以降は欧米債券の大幅下落につられ下落(利回りは上昇)しましたが、7月以降はギリシャのユーロ離脱懸念や中国株の下落を背景にリスク回避姿勢が強まったことや、8月の中国人民元の事実上の切下げを発端とした市場の混乱などから堅調(利回りは低下)となりました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド(以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」という場合があります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### ○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主としてインドネシアの債券に投資を行い、インカム・ゲインの確保とトータル・リターンを最大化を目指して運用を行いました。当作成期は債券価格および通貨の下落がマイナス要因となりました。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を上回ることを目指して運用を行いました。デュレーションを概ね長めに維持したため、長期の債券の金利低下が相対的に大きかったことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2015年2月19日 ～2015年3月18日	2015年3月19日 ～2015年4月20日	2015年4月21日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月18日	2015年6月19日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月18日
当期分配金 (円)	100	100	100	100	100	100
(対基準価額比率) (%)	1.294	1.300	1.365	1.402	1.389	1.489
当期の収益 (円)	36	38	37	36	41	37
当期の収益以外 (円)	63	61	62	63	58	62
翌期繰越分配対象額 (円)	1,778	1,718	1,656	1,594	1,536	1,473

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) ー印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### ○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### ○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

2015年4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比+4.7%と2期連続の5%割れとなるなど、足元ではインドネシアの景気減速感が強まっています。しかし、今年の後半には予算執行の加速が見込まれることから、今後は景気の押上げが期待され、相対的に金利水準の高いインドネシア債券に対する投資家の需要は高いと考えています。このような環境下、中国の景気動向、米国の利上げ時期、商品市況などの市場を取巻くリスクには引続き注視して参ります。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。インフレ率の低迷や日銀による量的緩和政策などから、国債利回りは低位で安定的に推移すると思われませんが、バリュエーション面で割高となっていることや米国の利上げなどのリスク要因を鑑み、デュレーションの短期化を図る方針です。

## お知らせ

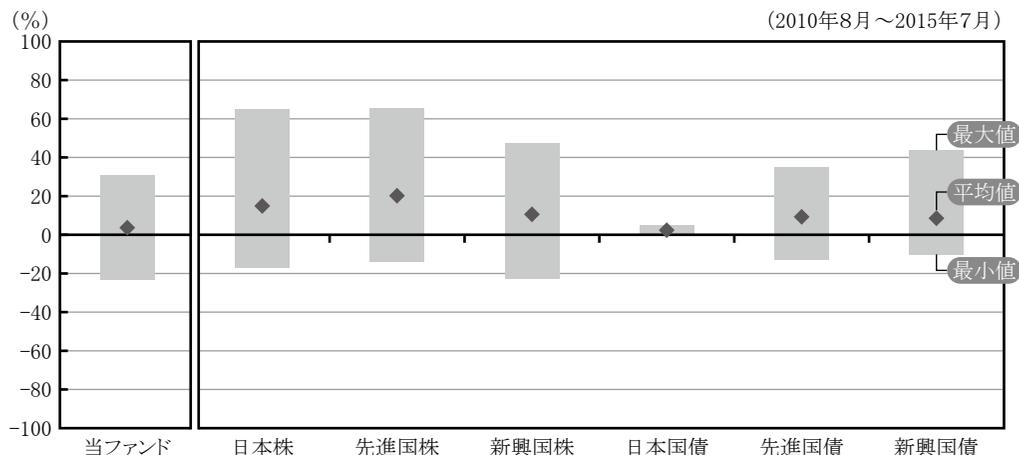
- 信託金の限度額を1,000億円から1,500億円とするため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更日:2015年5月15日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限(2012年2月29日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」(円建て)の受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎月18日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.7	14.9	20.2	10.6	2.4	9.3	8.5
最大値	30.6	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-23.0	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-10.1

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年8月から2015年7月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。  
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2012年2月29日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2013年2月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### ○組入ファンド

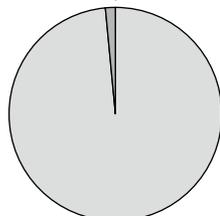
(組入銘柄数:2銘柄)

ファンド名	第40期末 2015年8月18日
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	98.4%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.0%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

#### ○資産別配分

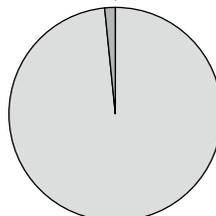
コール・ローン等、その他  
1.5%



投資信託証券  
98.5%

#### ○国別配分

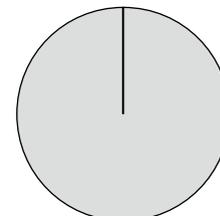
日本  
1.6%



ケイマン諸島  
98.4%

#### ○通貨別配分

日本円  
100.0%



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第35期末 2015年3月18日	第36期末 2015年4月20日	第37期末 2015年5月18日	第38期末 2015年6月18日	第39期末 2015年7月21日	第40期末 2015年8月18日
純資産総額	40,878,156,750円	43,707,674,071円	44,479,884,644円	48,393,040,482円	50,832,343,329円	48,216,464,252円
受益権総口数	53,588,869,868口	57,560,104,327口	61,540,840,610口	68,811,916,414口	71,585,215,946口	72,853,621,115口
1万円当たり基準価額	7,628円	7,593円	7,228円	7,033円	7,101円	6,618円

\* 当作成期中(第35期～第40期)において追加設定元本額は32,033,275,571円、一部解約元本額は5,595,404,776円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

#### ○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



#### ○組入上位10銘柄

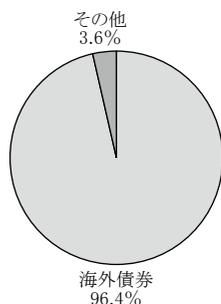
(組入銘柄数:52銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	10.9%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	8.5%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	8.4%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	7.5%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	4.3%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	3.9%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	3.5%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	3.0%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	2.6%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	2.6%

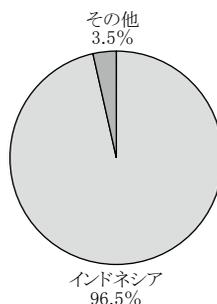
#### ○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンドのFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

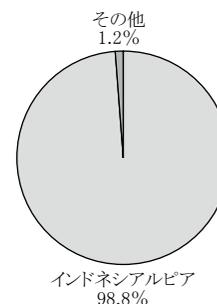
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社が入手可能な2014年12月30日時点のものを使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

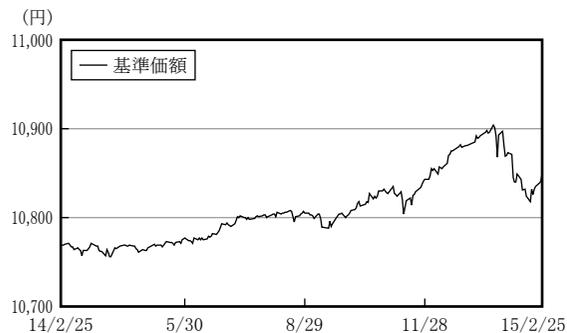
(注3) インドネシアルピア以外の通貨建ての債券に投資を行う場合には、原則として、実質的にインドネシアルピア建てとなるよう為替取引を行いますので、通貨別配分は当該為替取引を考慮し算出しています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## ◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2014年2月26日～2015年2月25日)

### ○基準価額の推移



### ○組入上位10銘柄

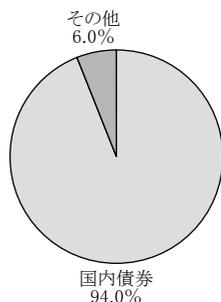
(組入銘柄数:27銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.6%
第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.3%
第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.1%
第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.7%
第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.7%
第69回利付国債(20年)	国債	日本	4.3%
第280回利付国債(10年)	国債	日本	4.2%

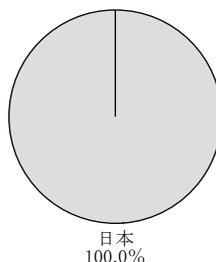
### ○1万円当たりの費用明細

項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社)	23円 (15)
(a) 信託報酬 (販売会社)	(2)
(a) 信託報酬 (受託会社)	(6)
(b) その他費用 (監査費用)	3 (3)
合計	26

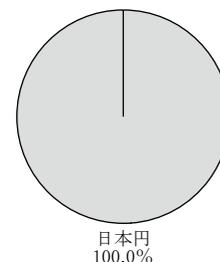
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要および注記については、2ページの「1万円当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。